



写真花嫁

日本の移民の歴史をたどる

日本の移民の歴史をたどることによって自分や自分以外の人のことを話す力を伸ばす。また、日本のお見合い制度、社会構成をアメリカと比べたり、移民の苦労について話し合う。さらに自分の家族か近所の人にインタビューすることによって、生徒は歴史をより身近に感じることができるようになる。



ヴィンク・風間宏子
Vink Hiroko-Kazama
パナホー中学校
(米国、ハワイ州)

目的

言語面の目的

- 日本と環太平洋の地理を理解し、紹介できるようになる。
- 自分や家族を紹介し、他人の自己紹介を理解できるようになる。
- 写真などを見て何をしているかを説明できるようになる。
- 日本移民の歴史について話し、その人びとの心境を語るができるようになる。
- コンピューターやビデオを使って、移民の歴史について環太平洋にいる移民の一世か二世、三世にインタビューする。
- 将来の夢について話すことができるようになる。

学習する機能	学習する表現	学習する語彙
<ul style="list-style-type: none"> ❖ 位置を説明する ❖ 家族、からだつき、感情、態度、夢などを文章化する 	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 広島は東京の南にあります ❖ 向井さんは広島市にすんでいます ❖ 家族は5人で父、母、～、～と私です ❖ 父はやせていて背が高いです。 ❖ 山田さんはとてもうれしかったです ❖ 大きくて海の近くにあるうちにすみたいです 	<ul style="list-style-type: none"> ❖ すんでいます ❖ つとめています ❖ ～さんと結婚したいです

文化面の目的

- 日本の移民の歴史を学ぶ。
- シミュレーションを通して移民の生活、心境を探る。
- 日本のお見合い制度を通して日本とアメリカの社会構成を対比する。
- 移民した当時の生活と、現在の生活を比較する。
- 移民の将来の希望について語る。

LESSON PLAN

用意するもの

- ゲリー向井さんの写真*
- 向井さんの家族の写真
- 向井さんのおじいさんの家族の写真
- 向井さんのおじいさんのお見合い用の写真*
- 写真花嫁の写真*
- 花嫁と一緒に写した日本移民の写真*
- Episodes in the History of U.S.-Japan Relations*,
SPICE, Stanford University
- 世界地図*
- 浴衣
- 生徒の写真
- 画用紙
- ペン
- クレヨン

授業の進め方

1. 向井さんと向井さんの家族の写真を見せる(7分)
向井さんと向井さんの家族の写真を見せて、家族の人数、職業を答えさせる。向井さんの家族を紹介する。

教師：これは向井さんの写真です。向井さんはアメリカ人です。日系アメリカ人です。向井さんはスタンフォード大学につとめています。向井さんの家族は4人です。おくさんは日本人で子どもが2人います。男の子で小学生です。向井さんはポロアルトにすんでいます。

2. 向井さんのおじいさんの写真と環太平洋の地図を見せる(5分)
向井さんのおじいさんはどこから来たのか、広島はどこにあるのかについて話す。

教師：向井さんのおじいさんは1918年に船で広島からカリフォルニアに来ました。仲間も5人来ました。広島はどこにありますか。その男の人たちはまだ結婚していませんでした。アメリカ人と結婚したかったんでしょうか。

3. 理想の花嫁像について話し合う(4分)
おじいさんがお見合いに使った写真を見て、理想の花嫁像を話し合う。

教師：おじいさんはとてもハンサムですね。何を着ていますか。おじいさんは日本の女の人と結婚したかったんですね。カリフォルニ

アに18歳くらいの日本の女の人がいましてしょうか。おじいさんはどんな女の人と結婚したかったんでしょうか。背が高い人でしょうか。髪の毛が長い人でしょうか。

4. 写真花嫁について説明する(6分)
サンフランシスコのエンジェルアイランドに到着したその花嫁と、花嫁と一緒に写っている日本移民の写真を見せる。花嫁が、どんな髪型をしているか、どんなことを思い、どんな夢を抱いていたかなどについて話をさせる。

教師：これは、船がカリフォルニアに着いたときの写真です。男の人はここで何をしていますでしょう。女の人は何を着ていますか。髪の毛は短いですか。この着物は高いでしょうか。向井さんのおじいさんはたくさんの花嫁の中から自分の花嫁を見つけました。

5. ロールプレイ1：見つけて！(6分)
波止場の状況を再現する。小さく区切ったところに男子生徒を置き、棧橋をドアのところまで作り、花嫁役の女子生徒をドアの外に待たす。各人に、相手のお見合い用の写真を渡しておく。1人ずつ部屋に入り、その時、入国管理人に相手の外見を伝えてから本人を探す。

教師：男性は広島から来た移民です。今ここカリフォルニアで、日本からの船を待っています。港に立って花嫁があなたを見つけるまで待っていてください。女性は外で浴衣を着てください。みなさんはこれから日本の若い男の人と結婚するんです。その人の写真があります。その人の写真を移民管理局の人に説明してください。例えば向井さんは背が低くて髪の毛が短いです。移民管理局の人はとてもこわいですから、ていねいにあいさつをしてください。オーケーがでたら本人を探してください。見つかったら移民管理局の人に見せてください。オーケーがでたらタスクをしてください。

6. ロールプレイ2：将来の希望
 1. 新婚夫婦で将来の希望を話し合い、ポスターに家族構成、新しい仕事、住む場所など希望する将来の絵を描く。ポスターを壁にはる。(5分)

教師：どんな気持ちだったか、2人でいっしょに紙の一番上に書いてください。そして2人で将来の夢を絵で描いてください。それを

あとから説明してください。どんなところにすみたいか、どこにつとめたいか、子どもは何人ほしいか。

教師：みなさんのポスターを発表してください。
生徒：大きな家がほしいです。海の近くにすみたいです。レストランにつとめたいです。

2. まとめ（5分）

実際のお見合いには、どんな条件があるかを考えさせる。

教師：今日の授業でお見合いのことを話しましたね。これは私の20歳のときのお見合いの写真です。一番いい着物を着ていますよ。20歳のとき、スポーツマンで、背が高く、ハンサムな人と結婚したかったんです。でも、だめでした。いまは離婚して、結婚していませんから、今度ハンサムでなくても、お金持ちでなくても、心のきれいな人と結婚したいです。みなさんは？

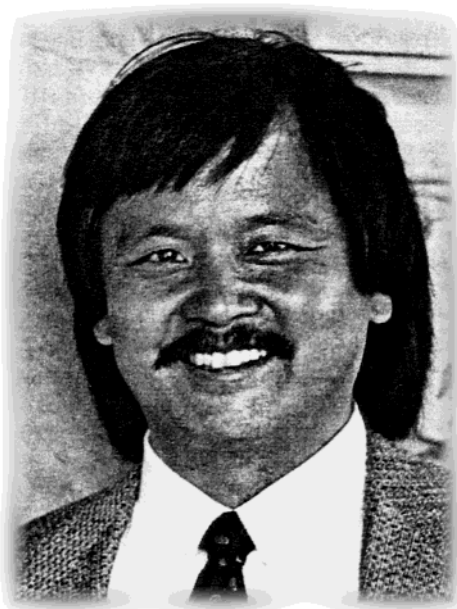
7. 発展学習

クラスを3つのグループに分け、学習結果をまとめて、ホームページ上で、ビデオの映像も使って新聞を作らせる。

1. 向井さんに感想文を書かせる。インターネットを通じて質問させる。
2. 日系二世の人にインタビューをしてビデオに収録させる。
3. インターネットで環太平洋の移民の歴史を調べ、その地域の人にインターネットを通じてインタビューさせる。

8. 評価方法

- ❖ ロールプレイ
- ❖ 作文
- ❖ 議論
- ❖ インタビュー
- ❖ 宿題
- ❖ 読み
- ❖ 発表
- ❖ 発展学習の成果



ゲアリー向井さん

写真提供：Gary Mukai



ゲアリー向井さんのおじいさんの家族

写真提供：Gary Mukai

文化理解と外国語学習について

真の日本理解に向けて

中等教育では、文化をもっと重視し、日本語の授業を「言語文化学」として扱いたいと思う。ことばがあつての社会、社会があつてのことばのコミュニケーションだと思ふ。

現在、日本文化に関する教材がいろいろ取り扱われているが、単なる読み教材か、ちょっと触れる程度の経験学習である。あるいは、日本の社会は二重構造であり、そこに義理と人情、表と裏、甘えなどが同居しているため、いろいろなことばの使い方と文法を生徒は使いこなさなければならないなどと表面的な説明をするだけの学習では、日本文化を理解したとはいえないのである。

私自身が7カ国に住んでみて感じたことは、本当にその国のことを理解したいと思うのは、心を動かされ、苦労し、また考えさせられる経験を重ね、伝統を肌で感じ取ったときであり、そうなるのはじめて本だけでは学べぬことを勉強できるということである。

幸いに日本の移民文化が強く残るハワイでは、語り継がれている話がたくさんある。広島や山口からの

移民が多く、昨年(1996)は英語のクラスと同時並行で原爆を題材にして平和問題を取り上げた。一貫して移民の歴史を日本語の授業で取り上げ、日米の文化を対比することによって、日本文化を知るだけでなく、生徒たち自身の文化も説明でき、また理解することができれば、祖先の意図も受け継がれることと思う。

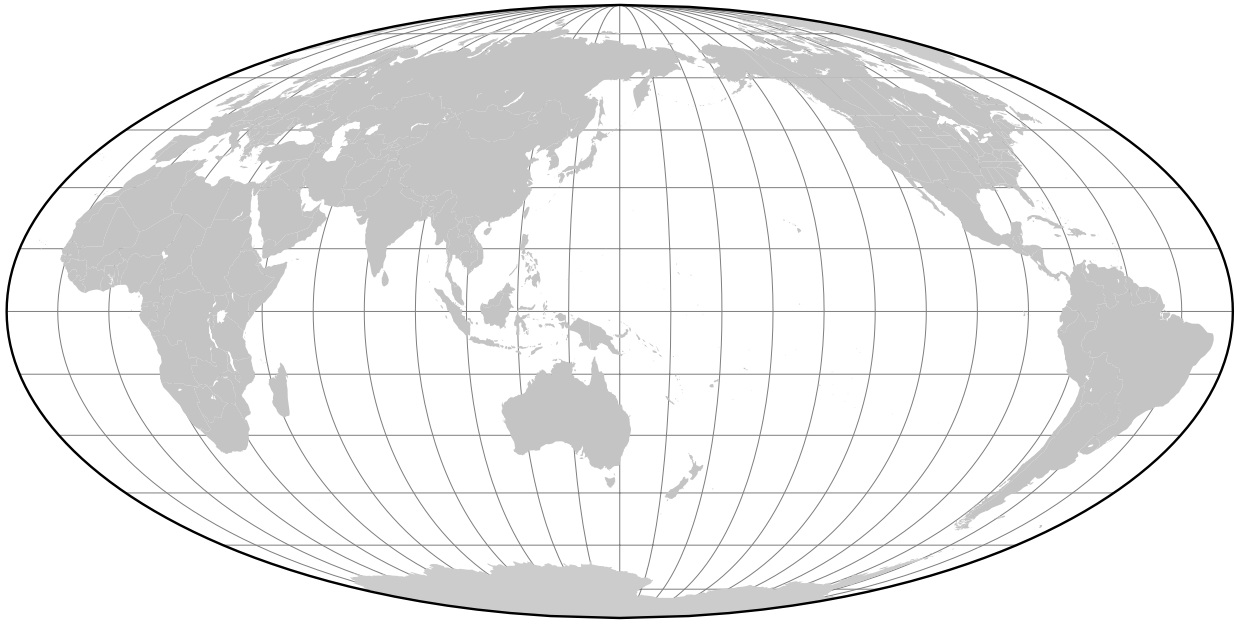
そのアプローチを、生徒中心の授業で実践するのが私の課題である。教師はいつも生徒の要求に応える活動を考えていないと偏った教授法になってしまう。生徒は最後に自分に合った方法で学習したことをまとめて発表する。それを教師、他の生徒、父母が評価し、生徒は自分の長所と弱点を発見する。そして、各人に見合った目標を設定し、他の生徒と協力して日本語を通して何かを作り上げるのが日本語学習だと思う。

ハワイで“Hokuleia”ということばがよく使われるが、それは昔、星だけを頼りにはじめて航海に成功した船のことである。日本語を教えることは、学術のみでなく精神も文化も本当に理解し、21世紀の国際社会を航海できる航海士を育て上げることであると信じている。

講評

このレッスンプランは、どこの日本語教師でも使えるという普遍的な授業プランだとは言い難い。しかし、日本人の移民文化の影響が強い地域では、このレッスンプランを参考にすることができるだろう。

この授業で日本語が学習の道具として使われているのは意義のあることで、生徒は授業を通して自身について学ぶ機会を与られている。歴史的な価値観を現代日本社会の価値観に結びつけるということは重要なことだ。生徒が自分自身を把握し、理解するためには、移民にとって、現代の日本人にとって、あるいは生徒自身にとっての理想的な結婚相手について話し合うとよい。そうすればそれぞれの共通点、相違点、そして文化的価値観を知ることができるだろう。



世界地図



向井さんのおじいさん(左)のお見合い用の写真
写真提供 : Gary Mukai

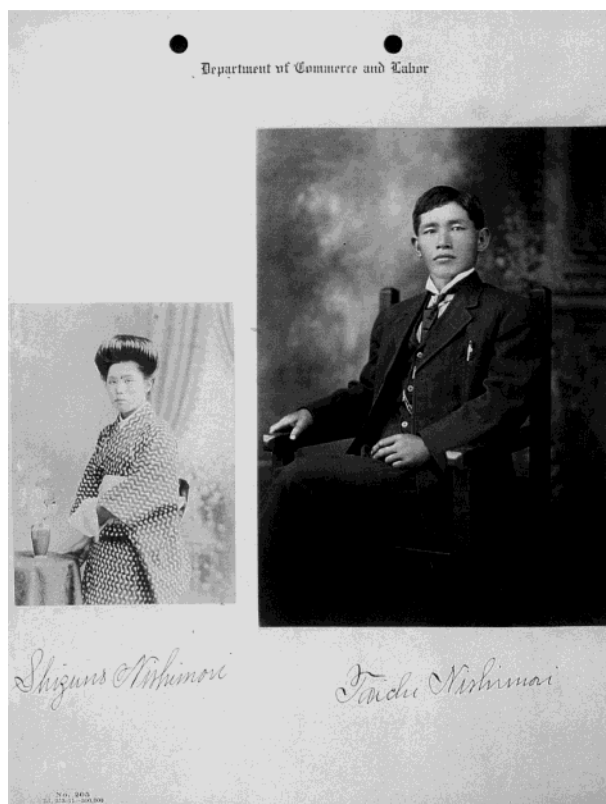


サンフランシスコのエンジェルアイランドで写した写真花嫁
写真提供 : Paul Q. Chow, Chairperson, Angel Island Immigration Station
Historical Advisory Committee



エンジェルアイランドに到着した写真花嫁

写真提供 : Paul Q. Chow, Chairperson, Angel Island Immigration Station Historical Advisory Committee



日本の移民夫妻

写真提供 : National Archives, Pacific Sierra Region